

# 河合町

## 河合町が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

河合町は、自然環境に恵まれた、こどもを安心して生み育てることが出来るまちです。心身ともに健やかな子どもの成長を支えるまち、すべての子どもが尊重され、安全で住みよいまちを目指して、幼児教育や学校教育の充実とともに家庭教育への支援、人材、自然、歴史などの地域資源を活用した多様な学習・体験活動を充実し、人間性豊かな子どもたちの育成に努めます。

### 1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲13.2% (▲6.2%)	17位	▲5.3% (▲2.1%)	16位	▲7.9% (▲4.1%)	19位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)		
			H27年	順位	
1.19 (1.29)	31位	+0.11 (+0.06)	63.6 (74.4)	29位	
④出生数（人）		⑤年少人口割合（15歳未満）			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
94 (8,947)	10.0% (12.0%)	19位	▲1.1㊦㊧㊨ (▲0.7㊦㊧㊨)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
17.3% (20.7%)	19位	▲4.6㊦㊧㊨ (▲3.8㊦㊧㊨)			

### 2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 高齢で出産する方が増えており、そのため親も高齢で頼ることが出来ない。また、遠方から嫁いでいる方も多く頼れる親族・友人等がいなかったため子育てに強い不安を感じており、今後地域のサポートをいかに繋いで提供できるかが課題
- ② 当町は、交通の利便性が良く大阪へ勤務している方が多いため、必然的に配偶者の帰宅が遅くなり、そのために母親の子育てへの負担感が大きくなっており、気軽に相談できる体制や短時間でも子どもを預けられる体制づくりが課題
- ③ 個々のニーズが、多様化しておりの確な支援やサービス体制が構築できるかが課題

### 3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 子どもの視点：子どもの様々な権利を養護しつつ、子どもの利益を最大限に尊重
- ② 子育てする保護者の視点：子育てについては親が第一義的な責任を有する認識のもと、子育ての喜びを実感できる取組を実施
- ③ 地域ぐるみの視点：地域の人材や自然、歴史などの資源を活用しながら、地域ぐるみで子育てや子育てを支援する

### 4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 令和2年4月に認定こども園を開園し、質の高い教育・保育を一体的に提供する。自然豊かな環境で子ども達にさまざまな体験や学びを通じて子育てを支援。
- ② 保健師を担当地区別に配置し、顔の見える体制で子育てを支援。また、保健センター内に家庭相談員を配置することで情報の連携・共有がスムーズであり、児童虐待などの対応を迅速に行っている。

### 5 多様な主体による子育て支援の取組

- 民生児童委員、各自治会、地域見守隊、地域ボランティア、行政等が連携しながら町ぐるみで子育て支援に取り組んでいる。
- ① 地域ボランティアが主体となって小学校の4～6年生を対象に通学合宿を実施。家庭から離れて地域の人と2泊3日の共同生活を送ることによって子ども達の自立心を養い、地域住民とのつながりを強くする。
  - ② 親子で参加できる自然体験やものづくりの体験教室を通じて知的好奇心を育てる。
  - ③ こどもの居場所作りを目指して地域のボランティアが子ども食堂を実施

詳しくは 河合町ホームページ <http://www.kawai.nara.jp>